

ヒロシマの物語から名作文学まで…奥深い「声」の世界

東区民文化センターを中心に活躍する「声」を用いる芸術団体がヒロシマを題材とした物語や名作文学を朗読します。第1部では各出演団体がセレクトした日本を代表する文豪たちの名作を上演します。第2部では全ての出演団体が協力してアーサー・ビナード作『さがしています』を朗読します。出演団体の個性を楽しみながら、普段の読書では味わえない文学作品の魅力を感じてください。

劇団テアトル広島

1965年4月『RCCドラマグループ』として発足。1988年11月中国放送より独立後、『劇団テアトル広島』と改称。老舗劇団として広島の演劇界を牽引し続け、本年で創立58年目。「ささやかではあっても 美しい演劇の華を この広島の地に咲かせたい せめて…その芽なりとも育てたい」という創立者岩崎徹の意志を継ぎ、その教えと精神を基に、戯曲の文学性・芸術性を大切に、広島の地に根ざした、大人から子供まで全ての年齢層の観客に楽しんでもらえる「本物の芝居作り」を目指し、公演に関わる全ての仕事を、劇団員の総力を合わせて取り組んでいる。年1回の自主公演を軸に、依頼を受けての移動公演の他、こども文化科学館「子供劇場」としてオリジナル作品の上演は現在も続いている。発足以来の通算公演回数は2022年9月現在195回

瀬野三枝子



森井 順



安井静江



松岡由里子



奥田文豪



久保田隆恵



劇団 Tempa

広島を拠点とする劇団。2011年4月、旗揚げ。春と秋、年に2回の公演を基盤に活動をスタートする。活動拠点は「広島市東区民文化センター」。座付き作家によるオリジナル作品を上演するほか、既成作品の上演、県外ツアー、映画館での上演、小学校での公演など、少しずつ、新しいことに挑戦しながら公演を重ねている。また、親子で観劇できる演劇公演やワークショップを開催、FMはつかいちで演劇に特化した冠番組「劇団Tempaのゲキラジ!」を毎週放送するなど、広島での演劇の普及活動にも力を入れている。人と人との繋がり、心のやり取りを大事にした芝居作りを心がける。演じる人も観る人も「心が震える芝居」をその場にいるお客さんと一緒に作り上げることをモットーとし、「生で目の前で起きる非日常」を楽しんでもらえる作品を生み出していく。

三上雄大



原島絵梨佳



内藤沙織



狩山穂香



中山智之



広島声優カンパニー

広島声優カンパニーは、「広島の地から、長く活躍出来る声優を生み出す」事を目的に、2017年4月より広島市内で活動している声優グループです。少数精鋭ですが、代表が様々な組織の声優講師を30年以上続けており、しっかりとしたノウハウが身につきます。また、多くの東京の声優プロダクションとも繋がりがあり、最新の声優界の情報も提供しています。今回は学習しているテクニックの一部である「マイクワーク」をお見せ出来るかと思えます。マイクワークとは、入れ替わり立ち代わりマイク前に来たり離れたりする動きで、声優のアフレコ現場では当たり前に行われている動きです。普段は目にする機会がほぼ無いアフレコの雰囲気、少しでも味わっていただければと思います。

景山えあ



オオカダハナミ



福本のあ



※出演者は都合により変更になることがあります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へのご理解・ご協力をお願いします。

